

08

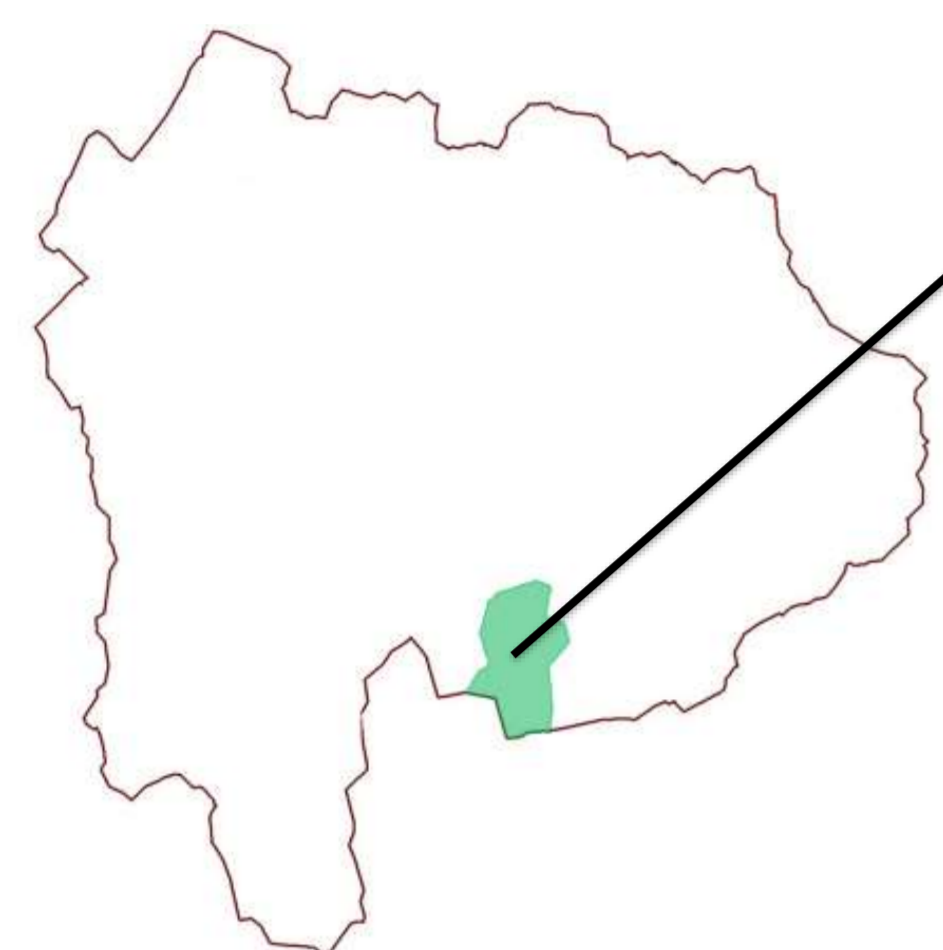
農山村資源を活かした観光地域づくりの実践

発表者：千葉真理奈*（生命環境学部地域社会システム学科3年）、曾根愛海*、吉江春香*（同2年）、赤池友吾*、伊藤彩香*、菊沢帆香*、小泉輝*、田中真未*（同1年）、中山滋園（生命環境学部地域食物科学学科2年）、中村穂乃香（同1年）、吉満翔平（工学部機械工学科2年） *観光政策科学特別コース

担当教員：菊地 淑人（生命環境学域・観光学・観光まちづくり）

取組の概要

活動地域の基本情報



鳴沢村

鳴沢氷穴、青木ヶ原樹海、溶岩樹型、キャベツ、千戸そばなど

地域課題と目的

昨年度の取組みで作成された「鳴沢村観光まちづくりビジョン」

求められる観光地としてのコンセプト



コンセプトブック作成を通じて地域ストーリーの発信

課題解決の方法

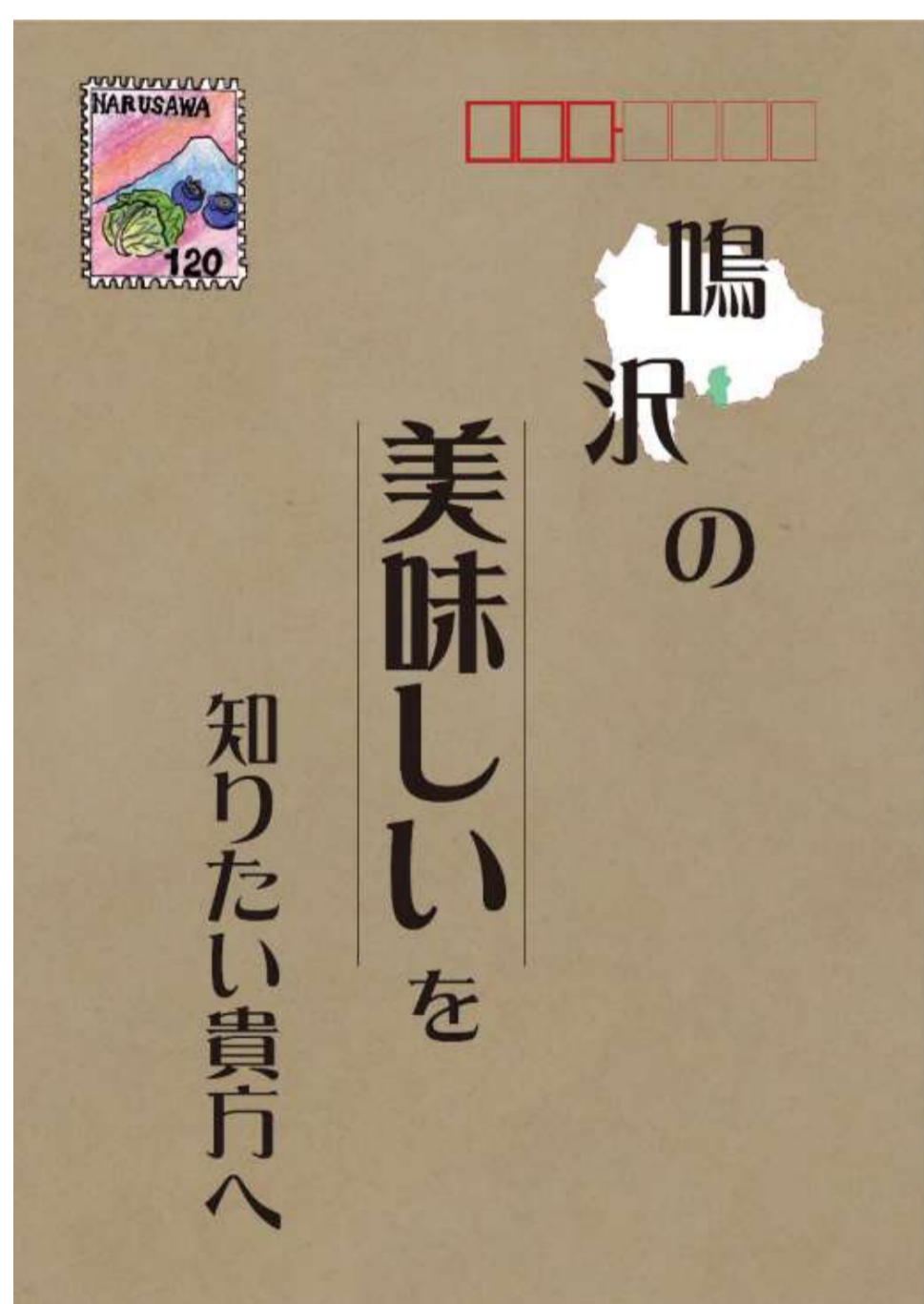
1. 現地調査

昨年度から引き続き活動している学生に加え、今年度から活動を始めた学生と共に再度対象地域の調査を行い、地域資源を探った。

2. コンセプトブック作成

2つのグループに分かれて作成を行った。

グループ1



食べ物をコンセプトとし、ヒアリング調査を重点において作成した。食べ物を4つに絞り、それぞれヒアリングを行って内容の濃いものとなっている。



グループ2

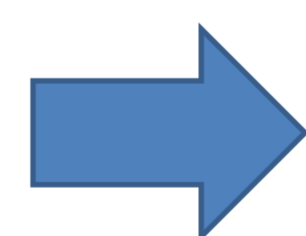
怪しいをコンセプトとし、綺麗で面白い写真に重点をおいて作成した。どの角度からの写真が最も怪しく見えるのかなどを考えて撮影を行った。



3. 先進地視察

視察先：群馬県川場村 道の駅「川場田園プラザ」

- ・「農業プラス観光」で自立する川場村の核
- ・地域資源へのアクセスポイントとしての道の駅のニーズを確立
- ・経済、地域活性化の効果が地域に広く波及



道の駅なるさわで活用できそうなことを考えた。

- ・今ある資源の最大限の活用
→ 空き地の活用法／廃棄されるブルーベリーの新たな活用法
- ・他とは一線を画した新しい施設



4. 鳴沢村への報告会の実施

2020年2月18日開催

- 鳴沢村コンセプトブック作成の報告
- 道の駅なるさわでの村産品の魅せ方の報告
- 学生による先進的な道の駅の事例分析報告

村役場の方、グループ1がヒアリングさせていただいた方、まちづくりに参加している方々に報告会を行った。報告会后、「ニーズにあったものがないといけない。」と村民の方々がおっしゃってくれた。地域住民の心を動かすことができた。

